



ブックレビュー

人間として

総合マネジメント学部長 鴨池 治

平成 23 年 3 月 11 日に発生した大地震、大津波は、想像を絶する死亡者、行方不明者、被災者を生み出すと同時に多くの民間資本、社会資本を破壊した。また、その後起こった東京電力福島原子力発電所の事故は、放射能汚染をもたらし、周辺住民の避難生活を余儀なくしたばかりでなく、農業、畜産業、漁業等にも莫大な損害を与えた。本書は、「今を生きる—東日本大震災から明日へ！復興と再生への提言—」と題する全五巻の叢書の第一冊目であり、東北大学大学院文学研究科の 11 人の研究者の執筆に依るものである。本書を通じる基本的な底流は被災者に対する愛情であり、多くの家族や知人を失いながら今生きている人たちは、何を考え何を拠り所にして生きるべきかを真剣に考察している。

本書の中で展開されている 2 つの問題を紹介したい。野家啓一氏は、序章で、福島原発事故が浮き彫りにした問題として、原発が生み出す放射性廃棄物の処理技術が未完成でありながら原子力発電を行ったことは、現在世代が未来世代に対して負の遺産を残すことに他ならず、その意思決定を現在世代が（自分たちの生活水準を高めるために）行うことに正当性がないことを指摘している。

放射能による汚染は、未来世代の生存そのものを脅かす最悪の環境破壊であり、現在世代にはそのような事態を引き起こす権利はないはずである。「私たちが「今を生きる」ことは、同時に「未来を生きる」ことに他ならない」。

次の点は、阿部恒之氏が第五章で述べられている点である。私も、極めて短期間であるが、避難所生活を送ったが、その際には、見知らぬ人たちが、寄り合い慰め合いながら、生活していたことに感動を覚えた。ある機会に、この話をし、困ったときにはお互い助け合うのは日本人の良いところだと言ったところ、ある人から、否、他の国の人も同じだと反論を受けた。この点に関し、阿部氏は、「災害時に略奪の多発する外国や過去の日本人の姿」と「助け合い、いたわり合う人々の姿」は、単純な対比ではなく、両者が存在し、ただその比率が異なるのであり、阪神淡路大震災以降の日本では、後者の比率が高まっていると考えるべきと言う。ただし、被災地の瓦礫処理を他の地域の住民が拒絶することに対しては、やはり憤りを覚えられている。

震災後の人の生き方についての哲学、文学、宗教、心理学等からのアプローチは、恐らく他に類を見ないもので、一読に値すると思う。

「人間として今を生きる

：東日本大震災から明日へ！
復興と再生への提言；1」



座小田豊・尾崎彰宏編 東北大学出版会

所 在：学生閲覧図書コーナー
請求記号：369.3/サコ/学関

～ DVD 制作の裏側～

図書館
日記

昨年度末、新入生ガイダンスに間に合わせようと、図書館紹介 DVD の制作が急ピッチで始まりました。図書館やキャンパス内で撮影を行なったので、その様子を目にした方も多かったのではないのでしょうか？

初めて福祉大学図書館を利用する人に分かりやすいものにするため、館員でアイデアを出し、知恵を絞って、まずはショートバージョンの DVD を完成させました。ショートバージョンとは言っても、費やした日数は決してショートではなく....、何度も校正を重ね、苦勞の末の完成となったのでした。そんな、ショートとは言えない時間をかけて作ったものの、ガイダンス当日の朝、完全なる間違いを発見！しかし、時すでに遅く、修正できないままのお披露目になってしまいました。本当に残念な結果です....



ショートバージョン完成後は、ホッとする間もなく、より詳しく図書館を紹介するミディアムバージョンの校正に取りかかりました。時間が長い分、確認することが山ほどあり、全く先の見えない状況でした。何度も何度も映像を確認しながら校正を重ね....。さて、そんなミディアムバージョンがどうなったのか？！

リエゾンゼミのほか、講義担当の先生方への貸出を行なっています。また、できるだけ早い段階で図書館 HP への UP も考えていますので、ぜひ一度ご覧ください！

ちなみに出演している学生さんは、図書館サポーターの有志のほか、けやきクラブの皆さんです。ご協力ありがとうございました！（閲覧担当：熊谷 幸）

図書館 12
利用シリーズ

オーバーバック

～ OPAC を使って検索してみよう!! ～

本学図書館では、35 万冊以上の専門的な図書や 5000 タイトル以上の雑誌、ベストセラーや AV 資料などたくさんの資料を所蔵しています。図書館にある膨大な資料の中から求めている資料を探すときは、OPAC 検索がおすすめです。

図書館 2F と 3F には OPAC 端末があり、皆さんも一度は利用したことがあると思いますが、うまく検索できましたか？今回は、OPAC の検索ポイントを紹介しましょう。



まず、本のタイトルや著者が分かっている場合は、タイトル名や著者名で検索すると的確に検索ができます。

また、調べている事柄やテーマがある場合は、思いついたキーワードで検索することもできます。うまく検索結果が得られなかった時は、関連する言葉や同義語、漢字や仮名表記などいろいろな方法で検索すると、検索結果が多くなることがあります。また、キーワードが複数ある時は、キーワードとキーワードの間にスペースを入れて検索するのも有効です。

そして、探している資料が見つかったら、実際にその本がある場所へ行ってみましょう。「学生閲覧図書」、「絵本」、「書庫」、...といった『所在』や『請求記号』をたよりに、本がどこにあるのかを知ることができます。



OPAC 検索は、簡易検索のほか詳細検索もありますので、あきらめずにいろいろな方法で検索を試してみてくださいね。パスワード「資料の検索」には、OPAC 検索雑誌編が載っています。そちらも参考にしてください。（閲覧担当：五十嵐 智子）

司書の プロムナード

近頃、速読術や大量読書術の本が流行っている。限られた時間の中で、できるだけ多くの本を読みたいと思ったことは誰しもあるだろう。

ここではある評論家が速読派として挙げられているが、彼らの人生には小説などの時間ばかりくってしょうがない本は、もはや存在しないという。そんな速読・多読派に挑まんとばかりに、著者は古今東西より遅読を唱える物書きを探し出して味方につけ、「ゆっくり読んでいいのだ。むしろ、それこそ人生上の選択として、決然と遅読派であってよい。」と言い放ってくれる。

その味方の一人、吉田健一。ゆったりとした彼の文章は、読み手の方の呼吸をそれに合わせないと読めないが、うまく合ってくると、物を読むことのうれしさが湧いてくる。そんな読み方を著者は「読書とは本と心身のアンサンブル」と言う。いい言葉である。そして、吉田も自身のエッセイの中で読書についての思いを綴っていた。他にも、エミール・ファゲをはじめとする、ゆっくり読みの達人たちの遺したそれにまつわる文章が引用されている。それらはゆっくり読むことが最も自然で幸福な読書法であることを教えてくれる。

著者が読書という行為そのものに感動を覚えた体験について書かれている部分では、「ある本に心を動かすことはあっても、読書そのものに感動することはなかった。読書の感覚がかわっている。ゆっくり読むようになってから」という言葉が印象的である。

『遅読』とは、その作品に向き合い、アンサンブルを楽しみ、読書のあらゆる喜びを感じながら読んでいくということである。ゆえに『遅読』となるのである。正々堂々遅読派でありたい。

(図書担当：稲妻 晶子)



『遅読のすすめ』

山村修 著/新潮社

所 在：学生閲覧図書コーナー
請求記号：019.12/ヤマ/学閲

ベストセラー ランキング

本学の図書館で、
最も読まれている
人気のベストセラー
の作品はどんな本？

- 1位 もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら / 岩崎夏海著 / ダイヤモンド社 / 2009
- 2位 麒麟の翼 / 東野圭吾著 / 講談社 / 2011
- 3位 真夏の方程式 / 東野圭吾著 / 文藝春秋 / 2011
- 4位 神様のカルテ / 夏川草介著 / 小学館 / 2009
- 4位 謎解きはディナーのあとで / 東川篤哉著 / 小学館 / 2010
- 6位 パイパイ、ブラックバード / 伊坂幸太郎著 / 双葉社 / 2010
- 6位 KAGEROU / 齋藤智裕著 / ポプラ社 / 2010
- 6位 花の鎖 / 湊かなえ著 / 幻冬舎 / 2010

(統計：平成23年度)

あなたの読んだ本はありましたか？何か読んでみたいのだけど...という方は、参考してみてください。

ベストセラーコーナーには小説などを揃えています。直接コーナーに足を運んで、背表紙を眺めながら選ぶのもよいですね。

図書館 展示

～ 展示を始めました ～

図書館では今年の4月から新たな試み“展示企画”を始めます。ご覧になりましたか？

第1回目は、4月4日から5月31日までの期間、新入生向けの展示を2Fフロアで開催しました。テーマは『誕生-その時』。

フレッシュな新1年生のみなさんが生まれた年の芥川賞、直木賞受賞作品をはじめとするベストセラーとともに、1993年4月から1994年3月までのニュースや出来事、流行語や音楽なども合わせて紹介しました。

そして、ブラウジングルームでは6月中、「東日本大震災 3.11 の記録」というテーマで、東日本大震災の写真集を数点展示しています。また、震災後の当館の様子を記録した写真と、破損した本の実物もあり、当時の図書館の被災状況を知っていただけるのではないかと思います。



『誕生-その時』

今回展示した写真集のほかにも、河北新報の特別縮刷版をはじめ、各新聞社の東日本大震災紙面集成や航空写真集などを、3Fフロアの「東日本大震災関連資料コーナー」に集めてあります。そちらもあわせてご覧いただければと思います。



『東日本大震災 3.11 の記録』

展示資料は開催期間中は貸出できないこともありますが、関連する資料が学生閲覧図書コーナーや書庫にもありますので、興味のある方はぜひご利用ください。

7月からは新たな展示を始める予定です。図書館内掲示や図書館HPでもお知らせします。次回の展示もお見逃しなく！

(編集委員)

図書館からのお知らせ

夏季休業中の長期貸出

期 間：7月23日(月)

返 却 日：9月17日(月)

対象資料：図書 *ベストセラーも含む、貸出冊数は通常と同じ

お知らせ

論文検索ガイダンス

期 間：10月11日(木)～16日(火)

申込のご案内：HP,ユニバーサルパスポート,図書館内掲示等でご案内します。

臨時休館のお知らせ

本館休館 ... 8月10日(金),11日(土)

分室休室 ... 8月10日(金)

展示企画

内 容：美術工芸館関連企画「人間国宝芹沢銈介」展

期 間：7月9日(月)～10月9日(火)

*詳しくは、HP,図書館内掲示等でご案内します。

- スタッフ紹介 -

ライブラリーサポーターから引き続きお世話になります、大場裕です。皆様により一層快適に図書館を利用して頂けるよう、精一杯努めさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

(大場 裕)

- 編集後記 -

ブックレビューを書いて頂いた鴨池先生に感謝申し上げます。今回の「としょかんぼう」は、読みやすさを少し意識しながら編集してみました。いかがでしたでしょうか？まだまだ勉強中ですが、感想などありましたらお気軽に編集委員まで声をかけて下さい！！
五十嵐・稲妻・菅原

